



＜市町村探訪 3＞

小さな輝き見つけたい！！「地域資源発掘隊」（笠間市）

「笠間市地域資源発掘隊」は、市内で活動している様々な市民団体や多種多様な地域資源など、地域に埋もれている貴重な財産を、市民の力で調査・発掘することを目的に、平成18年7月に発足しました。

発掘隊の発足当初は、まち歩きやワークショップを通して、調査の進め方やまとめ方を学びました。また、NHK水戸放送局の Reporter である森園有里さんを招き、Reporter の心構えや取材を行う際の注意点等について、講演もいただきました。



まち歩きワークショップ



《グループワーク》

10月からは、各自の興味のある事柄を基に、4班に分かれ、約1年にわたり、地域資源の調査活動を行ってきました。

雨の中で傘を差しながらの調査や、真夏の暑い日差しの中でも調査は続きます。時には、夜遅くまでまとめ作業を行うこともありました。これらの活動を通して、メンバー間の絆も強くなったものと思います。

現地調査の様子



最終報告会に向けたまとめ作業

【最終報告会】

と き：平成19年10月27日（土）

と ころ：笠間市役所 大会議室

班毎に調査活動を進めてきた発掘隊ですが、1年間の調査活動のまとめとして、最終報告会を行いました。現地調査や取材で得た情報を基に、地図やパワーポイントを使い、発表を行いました。

最終報告会には、茨城まちづくりセンターの「まちづくりアドバイザー派遣制度」を利用させていただき、発掘隊の開始式の際に講演をいただいた流通経済大学社会学部教授の香川眞先生にもご参加いただき、各班の発表への講評をいただきました。



《各班の報告》



最終報告会での発表の様子

「文化班」(1班)

指定文化財にはじまり、市内に眠る歴史遺産や旧江戸街道、笠間にゆかりのある人物等の調査・発掘を行いました。

「SKAT班」(2班)

笠間の豊かな自然環境に着目し、川や池、山、市の木である「さくら」について、調査・発掘を行いました。

「しあわせ班」(3班)

生活者の視点からアプローチし、子育てや医療・福祉、ユニバーサルデザインの生活情報や市内で活動するまちづくり団体等の調査・発掘を行いました。

「産業班」(4班)

地場産業や農産物、特産品について、また、他の班が見逃していた項目を拾い出し、調査・発掘を行いました。



ユニバーサルデザインの笠間焼

《講評》 流通経済大学 香川 眞 先生

各班の発表を対比させ、分かりやすい表現でまとめていただきました。「これからのまちづくりのキーワードは交流であり、ネタはたくさんある。調査したものの背景に何を置き、どんなコンセプトで、それらを有機的に結びつけていけるか。点をつなげた線や面で伝えることが大切である。どんなライフスタイルが似合うまちなのかを考え、ふるさとにどう生きるかという視点でまとめてみてほしい」と助言をいただきました。



香川先生の話をも熱心に聴くメンバー

メンバーからは、「調査を通して、今までは気がつかなかった新しい発見があり、勉強になった」「合併前の旧市町の壁を越えて、新しい仲間ができて良かった」等の声が聞かれました。

現在は、発掘隊で調査・発掘したデータを基に、笠間の魅力再発見『笠間まるごとガイドブック』の作成を行っています。このガイドブックの完成により、笠間の魅力を再認識するとともに、笠間の新たな一面を発見してもらえればと考えています。

《問い合わせ》

笠間市 市民活動課 まちづくりG
TEL 0296-77-1101 (内線 135)
FAX 0296-77-1390